

2014年8月4日

## FRBのバブル潰し

おかしな動きが続いている。スタートは7月15日のFRBイエレン議長の議会証言。ダウやSPは割高ではないと断った後で、小型や新興株は高すぎると発言した。おかげでフェイスブックやLinkedIn、Yelpなんかは急落。おまけにハイ・イールド債やレバレッジド・ローンにまで言及。発行しすぎ、あるいは融資条件が甘すぎる、と。

小さなバブル潰しが始まったと見る。しかし本丸である株や不動産が下がっては困る。このあたりが難しいところ。一筋縄ではいかない。

木曜日の米国株下落はFRBにとってはショックだったに違いない。元々は水曜日のGDP⇒FOMC後の声明⇒2年物国債利回りの上昇⇒ドルの上昇⇒木曜日の日本株下落⇒欧州株下落⇒米国株下落、と来ているのだから市場は利上げの時期が近づいたことを懸念しての動き。アルゼンチンやポルトガルなどどうでもいい。

利上げは予想よりも早く実行するだろう。出来るはずだしその後のバブルを引き起こさないためにも正常水準に戻す目的で行うことになるだろう。2年債が0.75%を超えたところで臨戦態勢。早ければ来年の春。これを織り込んでドル円は105円超え。

しかし米国株はいったん失速。日本株は、上値余地はあるもののハンドルの操作が難しい。偉そうな予想は立てないでおこう。